

## 図書館総合展「あなたも使える専門図書館」への参加をおすすめする理由

今井福司（白百合女子大学基礎教育センター）

私は大学で司書課程の講義を担当し、司書養成に携わっています。

この度、図書館総合展「あなたも使える専門図書館」について、何かメッセージをとのリクエストを頂いたので、“図書館総合展「あなたも使える専門図書館」への参加をおすすめする理由”と題して、「あなたも使える専門図書館」への参加を迷っている図書館への応援メッセージを送りたいと思います。

### 1. 大学の授業において、大変使いやすい情報源です。

私が担当する授業の中に、図書館情報学概論という科目があります。この科目は図書館とはなにか、図書館にはどのような館種があるのかといった話題に始まり、図書館情報学という学問の概要まで幅広い話題を扱う入門科目です。

私はこの科目で、1～2回分の授業を取って専門図書館について説明しています。他の館種と比べて、受講生が直接利用したことがない図書館が多いため、以前はどのように紹介を始めれば良いか迷っていた時期もありました。

司書課程を開講している大学は複数の学部に対して開いているケースも多く、受講生の専門分野も異なります。例えば教育学を専門に学んでいる学生さんだけであれば、具体的な図書館名（国立教育政策研究所 教育図書館など）を挙げて紹介すれば理解してもらいやすいのですが、複数の学部を相手にする場合、何が興味の対象かが掴めないまま紹介しなければいけないこともあります。

数年前より、図書館総合展「あなたも使える専門図書館」を画面に提示する実践を行ってみたところ、限られた時間で様々な図書館をまとめて紹介できることが分かりました。また、受講生の反応に合わせてタイトルをクリックすれば、その専門図書館のウェブサイトを開覧することができる仕組みになっているので、ただ紹介するよりも受講生の反応を生かしやすい授業が展開できます。また図書館総合展のウェブサイトは広く一般に公開されているので、たとえば受講生の課外課題として特定の専門図書館をレポートする課題を出した場合でも、「あなたも使える専門図書館」は使いやすい題材です。

専門図書館の皆さまにとっては、直接のメリットが見えづらいかもかもしれませんが、授業で紹介した後のリアクションペーパーでは、今まで名前も知らなかったが、ぜひ機会を見つけて訪れてみたいとの声も複数寄せられています。利用者層としてよく使い慣れているユーザー以外にアプローチしたいと考えている図書館の方にとっては、「あなたも使える専門図書館」にご参加頂くと、メリットが生まれるのではないかと考えています。

2. 他館種の方からも、アクセスしやすい情報源です。

図書館業界では、普段勤務している館種以外の情報が入手しづらいことがあります。他の館種の方へ情報を届けたいと思っても、その方達が普段使っている情報源には届かないこともよくあると思います。

図書館総合展「あなたも使える専門図書館」は全ての館種の方を対象にした図書館総合展内の企画として展開されています。普段は専門図書館が身近でない他館種の方も、図書館総合展だから見てみるという場面は本企画以外にも数多く見受けられます。例えば私が専門としている学校図書館の分野では、近年の学習指導要領で探究学習という活動をふんだんに盛り込んだ学習を要求するようになってきました。高等学校の探究学習になると、ほぼ大学のレポートに相当するようなレベルの内容を扱うことも出てきます。そうした中で、各種専門資料を備えた専門図書館と繋がりたいと考えている学校図書館関係者は少なくありません。ただ普段は繋がりが無いためになかなか連絡のきっかけが取れません。図書館総合展「あなたも使える専門図書館」に掲載されていれば、そもそもどのような専門図書館が日本に存在しているのかが一覧できます。自分の館種で必要としている連携のきっかけを図書館総合展「あなたも使える専門図書館」から生み出すこともできるはずです。

他館種の方へ自館の存在をアピールする場として図書館総合展「あなたも使える専門図書館」をご活用頂けると大変嬉しいです。

普段の業務に忙殺され、対外的な活動が難しいという専門図書館も多いかと思います。ただどのような専門図書館も、利用者を増やすことや一般への認知度を高めることは永遠のテーマとなっています。

その足がかりの一つとして、同じ図書館業界の中での認知度を高めるためにも、図書館総合展「あなたも使える専門図書館」にぜひご参加頂ければ幸いです。

2024年6月